

歯科理工学講座研究業績<Publication of Works> (1998)

原著 (Original articles)

1. Tanaka, Y., Udoh, K., Hisatsune, K. and Yasuda, K. : Early stage of ordering in stoichiometric AuCu alloy. Mater. Trans. JIM, 39, 87-94, 1998.
2. isatsune, K., Takuma, Y., Tanaka, Y., Udoh, K., Morimura, T. and Hasaka, M. : Martensite transformation in Au₃Zn alloy. Solid State Comm., 106-8, 509-512, 1998.
3. Hamasaki, K., Hisatsune, K., Udoh, K., Tanaka, Y., Iijima, Y. and Takagi, O.: Ageing behaviour in a dental low-gold alloy with high copper content. J. Mater. Sci.: Mater. Med., 9, 213-219, 1998.
4. Tanaka, Y., Udoh, K., Hisatsune, K. and Sakurai, T. : Distribution of niobium in an Fe-Pt-Nb magnet. Mater. Sci. Eng., A250, 164-168, 1998.
5. Hisatsune, K., Takuma, Y., Tanaka, Y., Udoh, K. and Kawasaki, K. : Fractal dimension of grain boundary in CuAu alloys refined by platinum addition. J. Mater. Sci., 33, 4783-4785, 1998.

総説、解説 (Review, Comments)

1. 田中康弘、有働公一、久恒邦博: 歯科用陶材／貴金属合金焼付界面の電顕観察。ミニ特集「電子顕微鏡による材料研究の最前線(第2回)」。日本金属学会会報まてりあ、Vol. 37、No. 12、986、1998.

著書 (Book, Proceedings)

1. 田中康弘: 歯科用材料の微細組織、電子顕微鏡基礎技術と応用1998～極微構造解明の新展開～。pp126-135、学際企画、東京、1998.

学内紀要、各種報告書 (Bulletin, Reports)

1. 久恒邦博: 傾斜機能界面を有する生体複合材料のHREMによるキャラクタリゼーション。平成7年度～平成9年度科学研究費補助金(国際学術研究)研究成果報告書、1998.
2. 有働公一: 高分解能電子顕微鏡によるAu-Cu-Pt三元系コヒーレント相図の研究。平成7年度～9年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書、1998.
3. 久恒邦博、田中康弘、有働公一: 人体にやさしい生体材料開発および表面・界面構造の高分解能電子顕微鏡解析。科学技術振興調整費地域先導研究「環境に適合した材料の創出のための複合型表層改質技術開発に関する基礎研究」成果報告書(平成9年度)、130-150, 1998.
4. 田中康弘、有働公一、久恒邦博: セラモメタル焼付界面の断面TEM観察。超高压電顕室研究報告、22, 71-72, 1998.
5. 田中康弘、有働公一、久恒邦博: Fe-40Pt合金の磁区構造のTEM観察。超高压電顕室研究報告、22, 73-74, 1998.
6. 有働公一、田中康弘、久恒邦博、末松久幸、山内尚雄: 傾斜機能界面を利用した歯科用陶材焼付用合金の開発。平成9年度応用セラミックス研究所(東京工業大学)共同利用研究報告、No.2, 100, 1998.
7. 田中康弘、桜井利夫: Fe-Pt系永久磁石合金の歯科応用のための研究。平成9年度東北大学金属材料研究所研究部共同研究報告、58, 1998.
8. 田中康弘、有働公一、久恒邦博: 歯科用金合金／陶材焼付界面の断面TEM観察。長崎大学機器分析センター超高分解能電子顕微鏡システムHRTEM Reports、No. 1, 21-22, 1998.
9. 田中康弘、有働公一、久恒邦博、中野正基、福永博俊: Fe-40Pt合金の磁区構造のローレンツ顕微鏡観察。長崎大学機器分析センター超高分解能電子顕微鏡システムHRTEM Reports、No.1, 23-24, 1998.

学会発表(Oral and Poster Presentations)

1. 田中康弘、有働公一、久恒邦博、中野正基、福永博俊: Fe-Pt磁石の磁区構造のTEM観察。日本金属学会1998年春期(第122回)大会、東京、1998。[日本金属学会講演概要、180, 1998.]
2. 田中康弘、永野清司、有働公一、久恒邦博: 透過型電子顕微鏡によるセラモメタル焼付界面のキャラクタリゼーション。第31回日本歯科理工学会、横浜、1998。[歯科材料・器械、17(Special 31), 129, 1998.]
3. 田中康弘、有働公一、久恒邦博、中野正基、福永博俊: Fe-Pt合金の微細組織及び磁区構造と磁気特性との関係。第54回日本電子顕微鏡学会、仙台、1998。[電子顕微鏡発表要旨集、33(Suppl. 1), 77, 1998.]
4. 田中康弘: 歯科用材料の微細組織、第9回電顕サマースクール、久留米、1998。[電子顕微鏡基礎技術と応用、1998, 126-135, 1998.]
5. 田中康弘、有働公一、久恒邦博、J. van Landuyt、G. van Tendeloo: 歯科用貴金属合金／ポーセレン焼付界面組織のTEM観察。日本金属学会1998年秋期(第123回)大会、松山、1998。[日本金属学会講演概要、153, 1998.]
6. 田中康弘、渡辺郁哉、有働公一、熱田充、久恒邦博、中野正基、福永博俊: Fe-Pt磁性合金の微細組織及び磁区構造と磁氣的性質との関係。第32回日本歯科理工学会、新潟、1998。[歯科材料・器械、17(Special 32), 44, 1998.]
7. 渡辺郁哉、田中康弘、有働公一、久恒邦博、熱田充、中野正基、福永博俊: Fe-Pt磁性材料のキーパー材としての検討。第32回日本歯科理工学会、新潟、1998。[歯科材料・器械、17(Special 32), 45, 1998.]
8. 田中康弘、有働公一、久恒邦博、中野正基、福永博俊: Lorentz顕微鏡によるFe-40at%Pt合金の磁区構造の観察。第40回日本電子顕微鏡学会九州支部、那覇、1998。[予稿集、17, 1998.]